

大阪産業大学 アジア共同体研究センター国際シンポジウム

保護主義的通商政策の台頭とアジア地域における経済連携の行方

日時：平成30年11月25日（日） 10:00～17:30

場所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス レクチャー・ルームA&B

シンポジウムの目的

米国による輸入製品に対する高関税の賦課など一連の保護貿易的政策は、中国やその他の国との間の貿易戦争に発展し、今後の世界経済への影響が懸念され、米国による保護主義的通商戦略が、アジア諸国が謳歌してきた貿易・投資の自由化という潮流にどのような影響を及ぼすのかに関心が集まっています。本シンポジウムでは、このような状況を踏まえ、今後の日本経済の動向に大きな影響を持つであろう経済連携交渉（とくに、TPP, RCEPの交渉を中心に）について、貿易・投資の保護主義化の中でのアジア諸国の通商戦略を検討することにより、今後の方向を占うことを目的とします。

プログラム（10時開始）

プログラム説明 小林・アジア共同体研究センター協議会委員

主催者代表挨拶 富澤・経済学部長

主旨説明 福井・アジア共同体研究センター長

■基調講演（10時30分～11時30分）

寺田貴（同志社大学大学院法学研究科）

「東アジア地域統合の行方：トランプ、安倍政治、対中関係の相互作用分析から見えるもの」

11時30分～13時 昼食



大阪産業大学 アジア共同体研究センター

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1 TEL: 072-875-3001 (代) FAX: 072-875-6707
URL: <http://www.eco.osaka-sandai.ac.jp/ACRC/>

■各国・各地域別報告

①中国（13時～13時30分）

唱新（福井県立大学）

「TPP・RCEP・「一帯一路」とアジア地域経済連携の行方」

②東南アジア（13時30分～14時50分）

大泉啓一郎（日本総研）

「ASEANとTPP、RCEP」

Limskul Kitti（チュラロンコン大学）

「Impact of World Trade Conflicts on Thailand and CLMV: A General Equilibrium Modeling Analysis」

コーヒブレイク（14時50分～15時10分）

③オーストラリア、ニュージーランド（15時10分～15時40分）

加賀爪優（大和大学・政治経済学部）

「アジア太平洋地域における経済連携協定と豪州・ニュージーランドの反保護主義対応」

④台湾（15時40分～16時10分）

川上桃子（アジア経済研究所）

「台湾：グローバル・バリュー・チェーン主導型発展の光と影」

■質疑応答と論点整理（16時15分～17時30分）

総合討論・座長 朽木昭文（日本大学）

■お問い合わせ・お申し込み

大阪産業大学アジア共同体研究センター

大阪産業大学経済学部事務室

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1 本館6階

TEL 072-875-3001（代） 内線2602

主催：大阪産業大学アジア共同体研究センター

協賛：大阪産業大学経済学部



大阪産業大学 アジア共同体研究センター

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1 TEL：072-875-3001（代） FAX：072-875-6707
URL：http://www.eco.osaka-sandai.ac.jp/ACRC/